

**FURUKAWA
ELECTRIC**

CGS-130006D

年 月 日

殿

太陽光発電システム用

直流1500V 架橋ポリエチレン絶縁架橋ポリオレフィンシースケープル

[DC1500V PV-CQ]

標準構造仕様書

古河電工メタルケイブル株式会社



1. 適用範囲

この仕様書は、直流1500V以下の太陽光発電システムの給電回路に使用する架橋ポリエチレン絶縁架橋ポリオレフィンシースケーブルに適用する。

2. 参照規格

電気設備の技術基準の解釈 第46条〔太陽電池発電所等の電線等の施設〕

3. 構造および材料

ケーブルの構造および材料は、次の各項ならびに付表による。

3. 1 導体

導体は、JIS C 3102に規定する軟銅線を用いた円形圧縮より線とする。

3. 2 絶縁体

絶縁体は、架橋ポリエチレン（黒色）とする。また、絶縁体の厚さは付表の値を平均厚さとし、最小厚さは付表の値の90%から0.1mmを減じた値以上とする。

3. 3 シース

シースは、架橋ポリオレフィンとする。また、シースの厚さは付表の値を平均厚さとし、最小厚さは付表の値の85%から0.1mm減じた値以上とする。

なお、シース色は黒色とする。

4. 線心識別

黒または白とし、黒を標準とする。

なお、黒の場合はシースの色により識別し、白はシース表面の白ラインにより識別する。

5. ケーブル表示

シース表面に次の事項を連続表示する。

- (1) 記号（エコエース DC1500V PV-CQ）
- (2) 導体サイズ
- (3) 製造業者名又はその略号
- (4) 製造年（西暦）

5. 1 ケーブル表示例

黒識別の場合：▲FURUKAWA エコエース DC1500V PV-CQ 14 mm² FEIC 製造年

白識別の場合：——▲FURUKAWA エコエース DC1500V PV-CQ 14 mm² FEIC 製造年——

※「——」は白ラインを表す。

6. 燃焼特性

ケーブルの燃焼特性は表 1 による。

表 1 燃焼特性

項目		特性	試験方法
難燃（ケーブル完成品）		60 秒以内で自然に消えること	JIS C 3005 の 4.26.2 b)
発煙濃度		6 回の試験の平均値が 150 以下※ 1	JIS C 60695-6-31
燃焼時発生ガス	酸性度	pH4.3 以上	JIS C 3666-2
	導電率	10 μS/mm 以下	

※ 1 最初の 3 回がいずれも 150 以下である場合は 3 回で合格

7. 検査

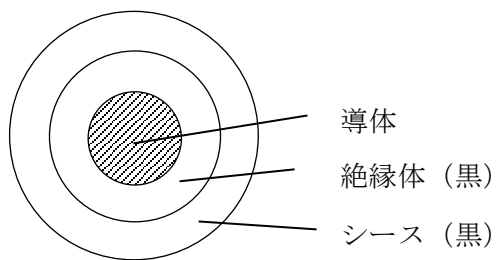
- (1) 外観
- (2) 構造
- (3) 導体抵抗
- (4) 絶縁抵抗
- (5) 交流耐電圧（水中）

付表 DC1500V PV-CQ

線 心 数	導体			絶縁体 厚さ	シース 厚さ	仕上 外径	概算質量 (参考値)	電気特性		
	公称断面積 mm ²	構成または形状 本/mm	外径 約 mm					最大導体抵抗 20°C Ω/km	試験電圧 V・5分	最小絶縁抵抗 MΩ・km
1	14	円形圧縮	4.4	0.7	1.2	8.4	175	1.31	6500	1000
	22	円形圧縮	5.5	0.9	1.3	10.0	265	0.832	6500	1000
	38	円形圧縮	7.3	0.9	1.3	12.0	420	0.481	6500	1000
	60	円形圧縮	9.3	1.0	1.4	14.5	645	0.305	6500	1000

断面略図

(黒識別の場合)



(白識別の場合)

